

## 平成 26 年度 総括事業計画（案）

昨年 9 月にリニア中央新幹線の駅位置と路線が明確になり、建設が現実のものとなって来た。それに伴って、行政や経済界等の動きも活発になっているが、郡市民の中の浸透度は決して高いとは言えない。リニア中央新幹線開業までの 13 年間は、決して長い期間ではなく、できることからすぐにでも行動を起こしていく必要がある。本年度は、前年飯田市と共に準備会を立ち上げて進めて来た、郡市民の皆さんと考え、行動に繋げていく場を具体化する一年とする。

また、郡市民会議の進行に合わせて、当フォーラムのあり方についても継続して検討を行い、方向性を明確化していく。

### 1) 郡市民との将来を考える場の具現化

リニア中央新幹線の開通に向けて、多くの郡市民と共に将来を考え、できることから具体的に行動に移していく為の場を、準備会、行政と協力して立ち上げ、自らもその中へ積極的に参加していく中で、協議体の運営を支えていく。

### 2) プロジェクト事業の推進と学びの継続

「リニアと広域まちづくりを考えるプロジェクト」において、リニア郡市民会議について様々な検討を進める。また、全体勉強会の開催、先進地視察等により自らの学びの場を設けていくと共に、他団体主催の講演会等へも積極的に参加していく。

### 3) 組織の在り方の検討

当フォーラムの在り方を検討し、今後の方向性について結論を出していく。

### 4) 他団体との交流・協力

長野県、広域連合、飯田市、町村会をはじめ、他団体と交流を図り、相互に協力、連携して活動を進める。

## 「リニア&いいだの広域まちづくりを考える」プロジェクト

### 平成26年度 事業計画（案）

「リニアとまちづくりを考える郡市民会議」の準備会議が設立され、本会議設立に向けての準備を行ってきました。本年は、「リニアとまちづくりを考える郡市民会議」の設立のサポートを行い、一市民として同会議に参画し、30代、40代の市民の皆さん一緒になって、調査、研究、実践を行ってまいります。また、同会議のメンバーと一緒に、必要とされる視察を実施いたします。

本年の事業として

- ① リニアとまちづくりを考える郡市民会議の設立のサポート
- ② リニアとまちづくりを考える郡市民会議への一市民としての参画
- ③ まちづくり先進地の視察

を行います。